

2019年9月3日

国際航空専門学校  
校長 埜口 裕之殿

## 学校関係者評価委員会 報告

学校関係者評価委員会  
委員長 山下 奉利

2019年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告致します。

### 記

#### 1.学校関係者評価委員

	氏名	所属
委員長	山下 奉利	学校法人浅野学園 監事
委員	渡辺 浩一郎	公益社団法人 日本航空技術協会 事務局長
委員	福田 和磨	株式会社 JAL エンジニアリング 総務部 組織・人財グループ グループ長
委員	奥西 武志	全日本空輸株式会社 整備センター業務推進部 マネジャー
委員	渡邊 敏	株式会社 JAL グランドサービス 総務部 人事採用グループ グループ長
委員	野口 謹司	ANA エアポートサービス株式会社 安全推進部 主席
委員	吉田 淳一	朝日航洋株式会社 航空事業本部 川越メンテナンスセンター センター長
委員	山崎 一慶	多摩川エアロシステムズ株式会社 品質保証部 副部長

#### 2.事務局

	氏名	所属
事務局	埜口 裕之	国際航空専門学校 校長
事務局	下濱 悟	国際航空専門学校 管理本部 部長
事務局	山田 知良	国際航空専門学校 教務部 部長
事務局	岩田 高廣	国際航空専門学校 教務部 次長
事務局	渡邊 昌利	国際航空専門学校 教務部 エアロサポート科 学科長
事務局	大野 恵	国際航空専門学校 管理本部
事務局	石川 麻里子	国際航空専門学校 管理本部

#### 3.学校関係者評価委員会 開催日・場所

2019年8月30日(金) 12:00~14:30  
公益社団法人日本航空技術協会 会議室

#### 4.2019年度学校関係者評価委員会 評価結果

平成30年度の自己評価は妥当と判断する。尚、詳細は別紙のとおり。

以上

別紙

(1) 学校運営方針及び重点施策説明（校長）

①学校運営方針

平成 22 年度からこの運営方針を掲げており、現状もこの通り進めている。

②2019 年度 重点施策について

整備士資格取得 100%を目指す（学生が自ら学ぶ意識、統一された教育）

学生一人一人について、きめ細かい対応をする。

社会人としての心構えを学生に徹底させる。

目標学生数を 160 名とし、管理本部のみならず全教職員が高校訪問を実施し、

学生数の確保につとめる。

(2) 就職状況（管理本部長）

エアロサポート科		4 月中に全員内定済。
一等航空運航整備士コース		全員内定済。
航空整備科	飛行機コース	4 名が航空技術コースに転科。 1 名 本田航空様の結果待ちとなっている。 合格すれば全員内定。
航空整備科	回転翼コース	今年は警視庁を 3 名受験したが、不合格となった。
運航整備科	飛行機コース	1 名が未内定ですが、目途は立っている。
	航空技術コース	4 名が未内定ですが、目途は立っている。

学校としての方針は、夏休みまでに全員内定としていたので、責任を感じています。

(3) 2019 年度教育計画について（質疑応答）

福田委員： 入試は全部で 7 回あるとのことですが、どの回の受験人数が一番多いですか。

学 校： 10 月の第 1 回目が一番多いです。説明会では、なるべく早い試験日がよいと話しています。その結果です。また 7 回目の試験終了後でも希望者があれば、個別対応で試験を行っています。

福田委員： 4 月から学校説明会が設定されていますが、一番参加人数が多いのはどの回ですか。

学 校： 高校生が夏休みに入っている 7 月、8 月が多いです。

渡邊委員： 8 月 25 日の見学会には沢山の高校生に来て頂きましたが、学校から学生に対して、アプローチは行っていますか。

学 校： 出身高校と本人に参加お礼の葉書を送り、説明会等に参加して頂いた方は、確実に入学に結びつくよう対策を行っています。  
説明会の参加者は高校 3 年生等の受験対象者だけではなく、高校 1・2 年生も多く参加を頂いています。すぐに受験には結びつかないと思いますが、先を見越して対応をしています。

また、高校生対象の工場見学に参加した学生の受験率は大変高いです。今年度から、企業と全国に 3 校ある回転翼コースの航空専門学校との合同企画で、ヘリポート見学会を開催し、多くの高校生に参加を頂きました。

奥西委員： 英語力アップを目標としているとのことですが、学校内の TOEIC 試験は

- 1回のみですか。
- 学 校： 紹介した1月の他に8月も実施しました。  
実施回数は昨年と同数ですが、受験学生数が倍になりました。  
企業様からの求人票にも英語の条件が記載されており、学校としても英語力を上げる取組みをしています。説明会に参加した学生にも英語力の重要性の説明をしております。また、山下委員長にも英語クラブとして学生の英語力アップにご協力頂いています。
- 山下委員長： 企業からはどの程度の英語力が求められていますか。
- 学 校： TOEIC450点以上や英検準2級程度の英語力を求められています。  
昨年8月に着任された英語教官は非常に意欲的で、航空技術協会様主催の航空英語講座にも参加しています。
- 山崎委員： 学生数確保について質問ですが、外国人受け入れの方針はありますか。
- 学 校： 受験した学生が当校の入学試験の基準に達していれば、学校としては入学を認めています。前回の入試の際には山田教務部長が、日本語の教科書を読み書き出来るかどうかを判断しました。今年度はロシアとマレーシアの留学生が1名ずつ入学しました。
- 奥西委員： ANAグループでも外国人の採用は行っています。
- 山下委員長： 外国人留学生が在籍することによって、学生同士の関わりも広がると思います。
- 学 校： 来年度から韓国の国費留学生を受け入れることになっています。  
グランドハンドリングでの留学生受け入れはなかなか難しく、語学学校と提携してはどうかと考えています。特定技能での留学生受け入れは、リスクが大きいので、もう少し検討したいと考えています。

#### (4) 平成30年度自己評価結果について（質疑応答）

- 吉田委員： 訪問する高校はどのような基準で決定しているのですか。
- 学 校： 主に一都五県の過去に当校へ入学している高校をメインに訪問しています。また、就職内定を頂いているエアロサポート科の学生に、高校訪問に同行してもらい試みも行っています。効果が非常に高いと感じました。  
さらに、高校訪問では工場見学をしたいとの声を聞きますので、企業様には是非ご協力を頂きたいと思えます。
- 吉田委員： 航空業界の仕事は認知度が低いように感じています。
- 学 校： 教職員でプロジェクトチームを立ち上げて、小中高生向けの航空教室を企画しています。また、選ばれる学校づくりを目指し、システム化を進めるなど業務効率化を計っています。
- 渡邊委員： エアロサポート科の就職先は幅広い業務に渡っていますが、学校の授業カリキュラムを見ると実習に関しては搭降載の科目が多いように思います。入社後は搭降載業務に配属されるとは限りません。学生の希望にミスマッチが起きているのではないかと思います。
- 学 校： 座学においては、多岐にわたる業務の授業を行っていますが、全ての分野の実習を行うことは難しい状況です。教育の内容に関しては、教育課程編成委員会にて、検討していきたいと思えます。

- 渡邊委員： 私は社会人になっても正直が大切だと思います。  
人間性も豊かにしてほしい。
- 学 校： 1年生の校外研修で、エアマンシップについての意識付けと礼儀作法の講演を行い、日頃から、豊かな人間性を育てることを教官の間で共有しています。
- 奥西委員： 2021年から18歳未満が更に少なくなりますが、今後どのような学生募集をしていくのでしょうか。またIT化が進む中、やはり最後は人であると思います。
- 学 校： 現代の流れにあった対策をする為、プロジェクトチームを作り、それぞれが考え、新しい試みを見出そうとしています。  
また、学校の既存システムに合わず、学校に行けなかった学生なども入学してくれている中、そのような学生を引き上げ、仕事ができるようにして社会に送り出すことが責務だと考えています。学校には経験豊富な先生方が揃っているので、先生方が教育に集中できるように周りの業務を簡素化する等、様々な取り組みをしています。
- 福田委員： 航空従事者の間口拡大を目指してANA/JALが協業して外国人受け入れの検討や、技術者養成の為に学校を設置する動きもあります。国際さんの学校説明会に対して企業側としてもしっかりと協力させていただきたいと考えています。また、千歳、岐阜、所沢の3校と企業との共催で航空業界のPRイベントを企画してはどうでしょうか。
- 渡辺委員： 技術協会としてもぜひ協力をしたいと思います。

- (5) 各評価項目について、評価委員による審議  
各項目とも評価レベルは妥当と判断する。

- (6) 評価対象期間  
自：平成30年4月1日  
至：平成31年3月31日

- (7) 実施方法、公表  
学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様にご覧いただき「平成30年度自己評価報告書」の結果について事務局より説明し、評価結果に対する意見を頂いた。頂いた意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等で公表する。

以上